

20協事サ1-1第5号

令和2年11月10日

町会・自治会長 各位

社会福祉法人
江戸川区社会福祉協議会
会 長 齊 藤 猛
(公印省略)

令和2年度歳末たすけあい運動実施について (お願い)

晩秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より社会福祉事業の推進につきましては、何かとご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

毎年、歳末たすけあい運動に際しましては、町会・自治会の役員の皆様を始め多くの方々にご理解、ご協力を賜り、多くの募金をお寄せいただいておりますこと改めて深く感謝申し上げます。

さて、今年も本運動を12月1日より31日までの期間で実施し、皆様から寄せられた浄財により障がい者世帯・福祉施設・団体等への援助、助成をさせて頂く予定でございます。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、昨年同様特段のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、募金の取りまとめは、遅くとも年明け1月中旬頃までをお願いいたします。

〔同封書類〕

(1) 募金袋 (加入世帯数)

※以前に募金袋不要と伺っている町会・自治会にはご用意しておりません。

(2) 令和2年度歳末たすけあい運動実施要綱

(3) 募金納付書・募金活動費領収書

(4) 募金納入に際してのお願い

(5) 募金の銀行振込について・振込依頼書

(6) 募金運動協力のチラシ

〔お問合せ先〕 江戸川区社会福祉協議会 担当：彦田・西川
江戸川区松島1-38-1 (グリーンパレス内)
直通電話 (5662) 5557

令和２年度歳末たすけあい運動実施要綱

1. 目 的

地域社会の相互扶助とたすけあい精神の高揚を図り、区内の重度心身障がい者・福祉関係諸団体を援助するなど地域福祉の増進を図り、あたたかい心のふれあう福祉の街づくりを推進するため本運動を実施する。

2. 実施期間

本運動の実施期間は令和２年１２月１日から同年１２月３１日までとする。

3. 運動の実施機関

この運動は共同募金の一環として東京都共同募金会が主催し、東京都社会福祉協議会と連携し、江戸川区社会福祉協議会が実施する。

収納及び援護活動を能率的に行うため江戸川区社会福祉協議会の中に『江戸川区歳末たすけあい運動実行委員会』（以下実行委員会という）を設置。

実行委員会は江戸川区社会福祉協議会理事で構成する。

4. 協賛団体

江戸川区・町会、自治会連合会・民生児童委員協議会

5. 募金対象

江戸川区内一般家庭・事業所・篤志家

6. 募金目標額

２，４００万円

7. 募金方法

町会、自治会を通じて歳末たすけあい袋を各家庭に配布し、町会、自治会はこれを取りまとめ、江戸川区社会福祉協議会へ納付する。

8. 募金取扱費

募金取扱費は町会、自治会が取扱った募金額の５％とする。

9. 事業所等の募金

事業所や一般篤志家の募金は江戸川区社会福祉協議会事務局が取扱う。

10. 援護費等の配分決定方法

援護活動を行うための詳細は、実行委員会で決定する。

令和2年度歳末たすけあい募金納付書

令和 年 月 日

町会・自治会名 _____

会長名 _____ (印)

社会福祉法人

江戸川区社会福祉協議会会長 殿

下記のとおり納付します。

募金額			万	千	百	十	円

納付場所：区役所及び所轄の事務所の地域サービス係または社会福祉協議会事務局に
お願いします。(月曜日～金曜日8:30～17:15 土・日曜祝日閉庁)

お問合せ先：江戸川区社会福祉協議会 事務局
電話 5662-5557

募金活動費領収書

(募金額) [_____ 円] × 0.05 =

(10円未満切捨て)

募金活動費		万	千	百	十	円
						0

差引受領額 [_____ 円]

ただし、令和2年度歳末たすけあい募金・活動費として上記の金額正に受領いたしました。

令和 年 月 日

町会・自治会名 _____

受領者名 _____ (印)

社会福祉法人

江戸川区社会福祉協議会会長 殿

※ 本書は募金納入ごとにご持参ください。

歳末たすけあい募金の納入に際してのお願い

- ※ お取りまとめいただいた募金の総額を確認し、募金納付書にご記入ください。
- ※ 納付場所は、所管の事務所（区民課）の各地域サービス係または、社会福祉協議会（グリーンパレス内）へ、お持ちください。
（土曜・日曜・祝日閉庁）
また、納付については、みずほ銀行からの振込みもできますので、別紙「銀行振込について」をご覧ください。
- ※ 募金の納付は、遅くても年明け1月中旬頃までをお願いします。
- ※ 募金総額の5%を募金活動費として、各町会・自治会にお支払いしますので、領収書に署名・捺印をお願いします。
- ※ お寄せ頂いた浄財は、区内の重度心身障がい者・要介護熟年者世帯への激励金や、区内で活動する福祉団体への活動支援等に活用されます。
- ※ 募金および配分の実績は、2月発行の「社協だより」にて報告させていただきます。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

（問合せ先）

江戸川区社会福祉協議会 担当：彦田・西川
江戸川区松島 1-38-1（グリーンパレス内）

☎ （5662）5557

歳末たすけあい募金の銀行振込について

町会・自治会にて取りまとめいただいた募金を下記の金融機関にて振込の取扱もしておりますので、併せてご利用ください。

《取扱金融機関》

みずほ銀行 ☆ 小松川支店 177 松江1-15-18 (3656) 2211
☆ 平井支店 250 平井3-30-4 (3682) 2211
☆ 西葛西支店 561 西葛西5-6-2 (5696) 6001
☆ 小岩支店 594 南小岩7-13-6 (5693) 1211
(上記の金融機関以外ではお取扱できません)

振込先 みずほ銀行小松川支店
普通預金口座 1946814
〒114-8501 江戸川区社会福祉協議会
社会福祉法人 江戸川区社会福祉協議会

※ 窓口でのお振込みは同封の振込用紙をお使いください。振込手数料はかかりません。
ただし、硬貨での入金の場合、枚数により大量硬貨取扱手数料がかかります。

※ 銀行からの依頼により、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、なるべくATMをご利用ください。(ATMの振込の場合、振込手数料がかかります)

<振込に際してのお願い>

- (1) 振込は、年内(12月中)にお願いします。年を越す場合は、お手数ですが各事務所地域サービス係または社会福祉協議会にご持参ください。
- (2) 金額確認のため、窓口にてお待たせする場合がありますので、ご了承ください。
- (3) 振込まれた後に、下記について社会福祉協議会へ必ずご連絡ください。
①町会・自治会名 ②振込日 ③振込金額 ④募金活動費振込先口座

★募金活動費(募金総額の5%)送金について>

募金活動費については後日社協より振込みで送金させていただきますので、貴町会・自治会の口座名、口座番号も併せてご連絡ください。

なお、募金総額を全額寄附(募金活動費辞退)される場合もご連絡をお願いします。

(ご連絡先)

江戸川区社会福祉協議会 担当：彦田・西川
江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス内新館1階
☎(5662) 5557 FAX(3654) 2940

歳末たすけあい運動

令和
2年度

「歳末たすけあい・

地域福祉活動募金」

つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～



「音符の家 冬」 OSACO.T Artbility ※この作品は障害者アーティストによる作品です

お寄せいただいた募金はこの地域の福祉活動に使われます。
詳細は赤い羽根データベース「はねっと」でご覧になれます。

<http://www.tokyo-akaihane.or.jp>

歳末たすけあい運動とは

毎年12月に「共同募金運動」の一環として、地域の社会福祉協議会が中心となって実施しています。この運動は、戦後の混乱期に、市民のたすけあいの精神により、生活に困窮する人々に対する物資の持ち寄り運動として始まりました。その後、時代や福祉課題の変化に応じながら、地域での安心・安全な暮らしを支えるための貴重な募金として、様々な取り組みに活用されています。

孤立した高齢者を狙う悪徳商法や、子どもの安全を脅かす様々な事件。多発する地震などの自然災害。現在、地域の中には、公的なサービスや制度だけでは解決されない問題が山積しています。大都市東京においても、改めて「地域のつながり」を再生させ、身近な地域で支えあう「地域の福祉力」を高めていくことが求められています。歳末たすけあい運動にお寄せいただいた募金は、そのような地域に根差した福祉活動を進めるために、有効に使わせていただきます。

● 募金の使いみち

- みなさんからお寄せいただいた募金は、この地域の「地域福祉活動費」や「見舞金」として配分されます。
「地域福祉活動費」は、地域の生活課題に応じて、下記枠内のような取組みに配分されます。
「見舞金」は、寝たきり高齢者や認知症高齢者を自宅で介護される世帯や、支援を必要とする世帯などへ配分されます。

■地域の縁側として誰もが気軽に集まれる「ふれあい・いきいきサロン」
■小学生の登下校時やひとり暮らし高齢者への「見守り・声かけ活動」
■町会・自治会単位など、小地域でのささえあい活動

■地域に根ざしたボランティア団体や福祉団体の行事や活動への助成
■災害ボランティア養成講座など、地域住民を対象とした講座や研修会の開催
■生活上の困りごとを支えるきめ細かな在宅福祉サービスの展開 など

- 令和元年度の東京都全体の配分実績総額は4億6,157万円で、内訳は「地域福祉活動費」が3億9,054万円、「見舞金」が7,103万円でした。区市町村ごとの募金の使いみちは、赤い羽根データベース「はねっと」(<http://www.tokyo-akaihane.or.jp>)で検索いただけます。

見舞金 (15.4%)	地域福祉活動費 (84.6%)
----------------	--------------------

● 地域福祉活動費を活用した都内の取組み事例

● 地域の支え合い活動に対する支援

(墨田区社会福祉協議会)

墨田区社会福祉協議会では、地域の支え合い活動（小地域福祉活動）を推進しており、この活動の支援に活用しています。小地域福祉活動とは、町会・自治会といったお互いに顔見知りの範囲で、「戸別訪問」「見守り・声かけ」「ふれあいサロン」など、それぞれの地域に合った活動を通して地域の中でお互いに支えあう気持ちを次の世代へも繋げていくものです。

● おひる処

(清瀬市社会福祉協議会)

高齢社会になり、食事が偏っている人、孤食の人、バランスのとれた食事の分からない人。その様な人達と談笑しながら食事をして元になり、地域の輪が広がればと思います。毎月第2金曜日に40名近い方々が昼食を手作りした物を頂き話もはずみ笑顔も出ます。顔なじみを作る、家から出るという事が必要だと思います。そんな手助けになればという思いで活動しています。

● 募金が配分されるまで

配分計画・ 募金目標額の決定（5月）

あらかじめ配分計画を立て、その計画の実施に必要な募金目標額を定めます。

募金活動の実施 (12月1日～31日)

協力者による各家庭への訪問や、自治会・町会等を通じた募金用封筒の回覧などが行われます。社会福祉協議会の窓口でも募金を受け付けています。

募金の配分

「見舞金」は募金年度内の12月～1月に配分されます。「地域福祉活動費」は翌年度の4月に配分され、1年間の取組みに活用されます。

● 歳末たすけあい運動に対する寄附金の税制上の優遇措置

共同募金運動の一環である「歳末たすけあい運動」への寄附には、税制上の優遇措置があります。税制上の優遇措置を受けることを希望される場合は、地域の社会福祉協議会にご連絡ください。

税制上の優遇措置の内容 ※詳しくは東京都共同募金会までお問合せください。

〔個人の場合〕

所得税の寄附金控除、寄附金税額控除および住民税の寄附金税額控除の対象になります。

○所得税に係わる寄附金控除額（下記①、②のいずれか）

①所得控除 寄附金額（年間所得の40%を限度とする額）－2千円

②税額控除（寄附金額－2千円）×40%＝所得税額からの控除額（所得税額の25%が限度）

※「所得控除」とは、寄附者のその年分（1月～12月）の課税対象となる所得から、該当される額が控除されることをいい、「税額控除」とは、納付すべき税の額から該当する金額が控除されることをいいます。

○住民税に係わる寄附金税額控除額

[寄附金額（年間所得の30%を限度とする額）－2千円]×10%

〔法人の場合〕

株式会社などの法人の寄附は、法人税の算出にあたり寄附額を「全額損金」とすることができます。

(お問合せ)

社会福祉法人 江戸川区社会福祉協議会
〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス1F
TEL 03-5662-5557

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

〒162-8953 新宿区神楽河岸1-1

TEL 03-3268-7186

社会福祉法人 東京都共同募金会

〒169-0072 新宿区大久保3-10-1 東京都大久保分庁舎201

TEL 03-5292-3181